

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2010年9月調査）

2010年11月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2010年7～9月の実績と2010年10～12月の見通しを9月初旬時点でうかがったものであり、1,050社からご協力をいただき、回答率は42.0%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

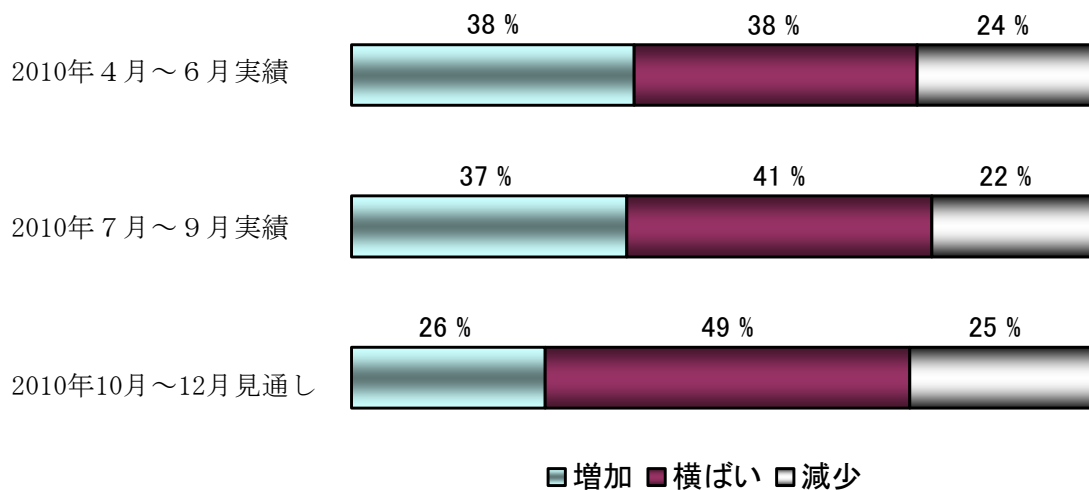
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	104	44.8
	繊 維 ・ 衣 服	111	46	41.4
	木 材 ・ 家 具	96	41	42.7
	パ ル プ ・ 紙	107	42	39.3
	化学・プラスチック	238	106	44.5
	窯 業 ・ 土 石	102	43	42.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	111	56.6
	金 属 製 品	128	54	42.2
	一 般 機 械	222	92	41.4
	電 気 機 械	333	127	38.1
	輸 送 用 機 械	250	95	38.0
	精 密 機 械	67	22	32.8
	そ の 他	167	52	31.1
計		2,249	935	41.6
卸 売 業	生 産 財	124	60	48.4
	消 費 財	127	55	43.3
	計	251	115	45.8
合 計		2,500	1,050	42.0

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

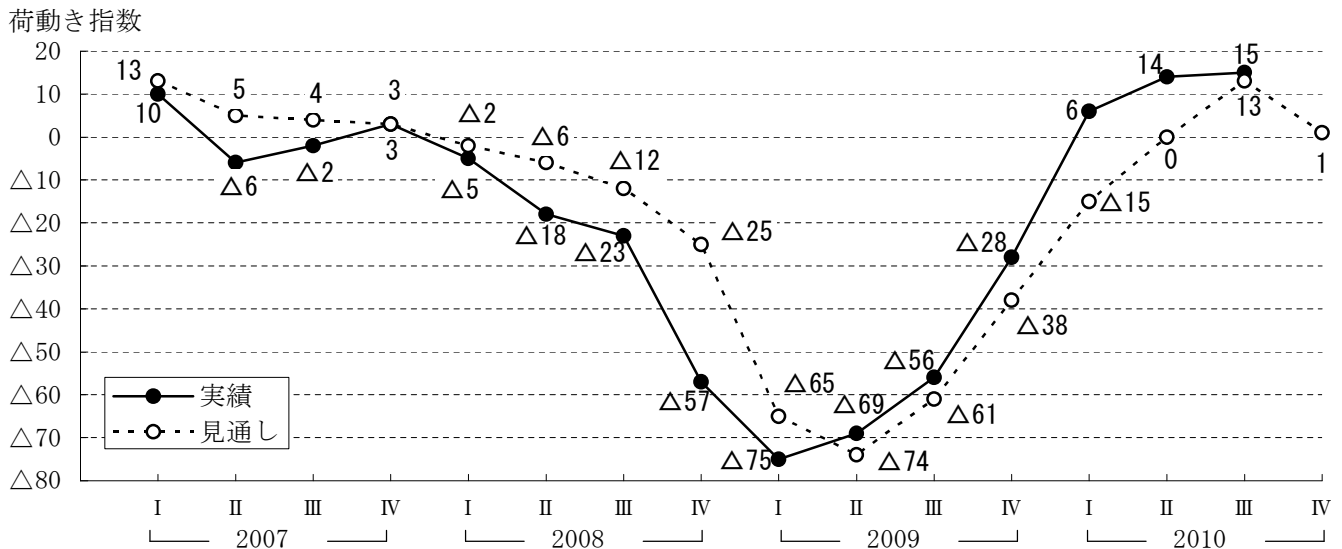
- 7～9月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績より1ポイント低下し37%となった。また、「減少」との回答も前期より2ポイント低下し22%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は1ポイント上昇してプラス15となった。
- 10～12月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（7～9月）実績（見込み）より11ポイント低下し26%となる一方、「減少」との回答は3ポイント上昇して25%になる。この結果『荷動き指数』は14ポイント低下してプラス1と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



- 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2010年1～3月実績で前期までのマイナスからプラスに反転し、4～6月実績、7～9月実績（見込み）では、2ケタのプラスを維持した。しかし、10～12月見通しではプラス1と水面近くまで急落し、ここにきて荷動きの停滞が懸念される状況となっている。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2010年IV期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2010年III期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 7～9月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、その他の製造業、鉄鋼・非鉄、輸送用機械など9業種がプラス、パルプ・紙、木材・家具など6業種がマイナスとなった。プラスの業種ではすべて2ケタのプラス、マイナスの業種では食料品・飲料および繊維・衣服の2業種を除いて2ケタのマイナスを示しており、業種により明暗が分かれる。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、木材・家具がゼロ水準まで上昇するものの、金属製品、一般機械、輸送用機械の3業種がマイナスに落ち込む。この結果、全15業種中過半数の8業種がマイナスとなり、化学・プラスチックなどプラスの業種でもプラス幅の縮小が見込まれ、一部を除いて明るさは窺えない。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	99	22	51	27	△ 5	99	15	59	26	△ 11
	繊維・衣服	45	24	47	29	△ 5	45	15	58	27	△ 12
	木材・家具	40	22	40	38	△ 16	40	23	54	23	0
	パルプ・紙	42	26	29	45	△ 19	41	22	41	37	△ 15
	化学・プラスチック	105	37	51	12	25	105	28	59	13	15
	窯業・土石	42	38	36	26	12	42	31	43	26	5
	鉄鋼・非鉄	110	53	31	16	37	109	41	38	21	20
	金属製品	53	38	36	26	12	54	20	41	39	△ 19
	一般機械	92	39	38	23	16	92	28	39	33	△ 5
	電気機械	127	49	31	20	29	127	37	40	23	14
	輸送用機械	93	49	38	13	36	92	27	38	35	△ 8
	精密機械	22	45	41	14	31	21	38	38	24	14
	その他	50	48	42	10	38	50	26	54	20	6
計	920	40	39	21	19	917	28	46	26	2	
卸売業	生産財	57	17	51	32	△ 15	56	11	68	21	△ 10
	消費財	54	11	65	24	△ 13	53	5	72	23	△ 18
	計	111	14	58	28	△ 14	109	8	70	22	△ 14
合計	1,031	37	41	22	15	1,026	26	49	25	1	

■ 7～9月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、北海道および四国の2地域がマイナスで、他の7地域ではプラスとなった。また、プラスの地域のうち中国を除く6地域で2ケタのプラスを示した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、東北、東海、中国の3地域がマイナスに沈み、全9地域中5地域でマイナスとなる。関東、北陸・信越、近畿、九州・沖縄の4地域でも、プラスは維持するものの、その増勢は鈍化しよう。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

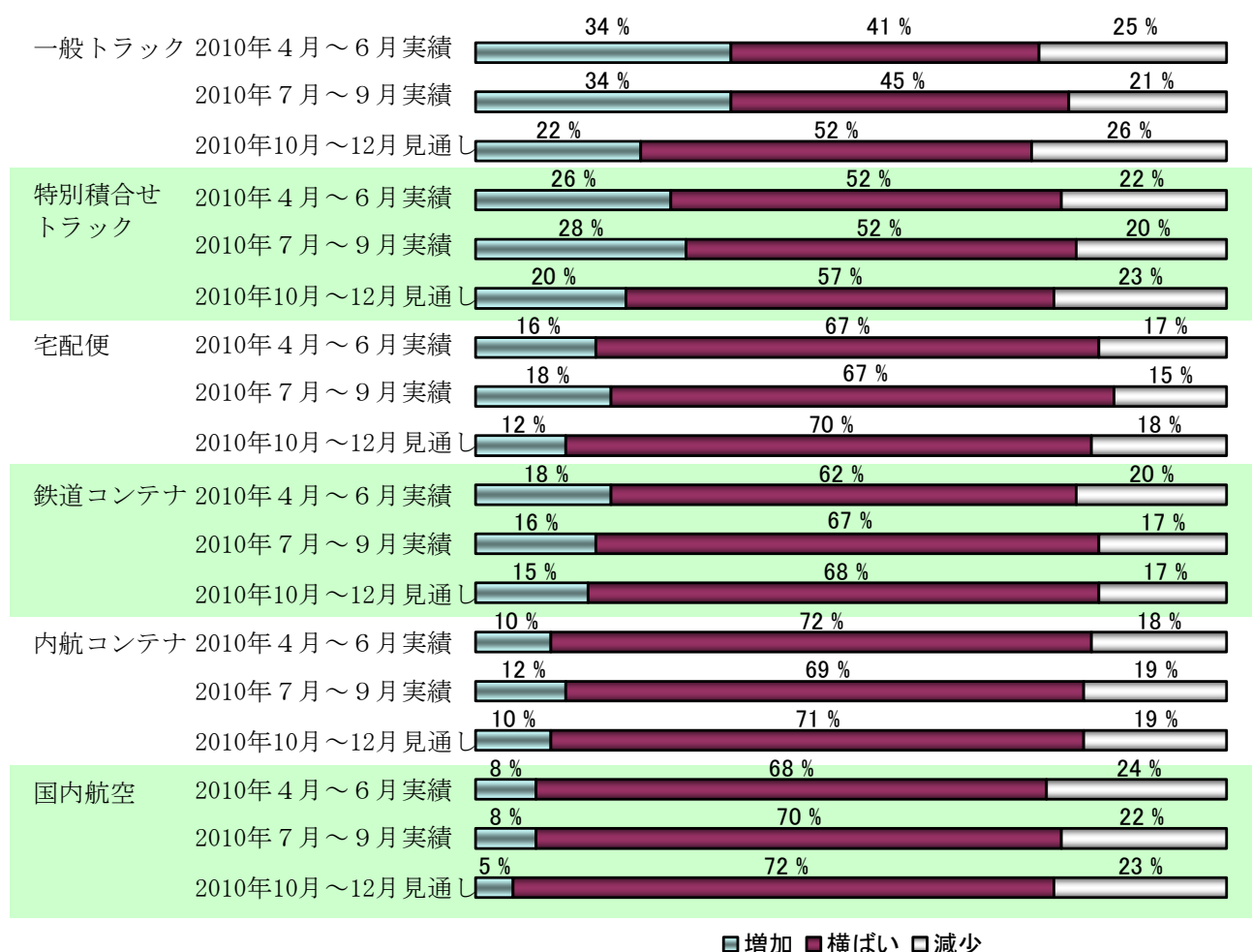
地 域	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し				
	回答 社数	構成比(%)			荷動き 指 数	回答 社数	構成比(%)			荷動き 指 数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	48	23	48	29	△ 6	48	15	56	29	△ 14
東 北	87	34	43	23	11	87	25	45	30	△ 5
関 東	259	42	36	22	20	257	26	51	23	3
北 陸 ・ 信 越	101	46	39	15	31	101	37	37	26	11
東 海	144	42	40	18	24	142	25	42	33	△ 8
近 畿	154	38	36	26	12	155	29	50	21	8
中 国	101	29	49	22	7	102	20	55	25	△ 5
四 国	58	19	55	26	△ 7	56	14	65	21	△ 7
九 州 ・ 沖 縄	79	33	47	20	13	78	32	45	23	9
合 計	1,031	37	41	22	15	1,026	26	49	25	1

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 7～9月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』をみると、一般トラック、特別積合せトラック、宅配便ではプラス、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空ではマイナスとなり、輸送機関によりバラツキが大きい。前期（4～6月）実績との比較では、プラスの輸送機関ではいずれも『利用動向指数』の上昇がみられたが、マイナスの輸送機関では総じて小幅の変化にとどまった。

■ 10～12月の見通しでは、すべての輸送機関で『利用動向指数』が低下してマイナスを示す。この結果、マイナス幅は鉄道コンテナの△2から国内航空の△18までバラツキはあるものの、すべての輸送機関で荷動きの減退が見込まれる。

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、鉄鋼・非鉄、その他の製造業など9業種がプラス、木材・家具など6業種がマイナスとなった。プラスの業種ではすべて2ケタのプラスを示すのに対して、マイナスの業種では食料品・飲料を除いて2ケタのマイナスとなり、業種により明暗の差が大きい。業種全体の『利用動向指数』はプラス13で、前期（4～6月）実績からは4ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、金属製品および輸送用機械がマイナスに沈み、全15業種中過半数の8業種がマイナスとなる。業種全体の『利用動向指数』は17ポイント低下して△4とマイナスに落ち込み、利用は減退方向に反転する見通しである。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	102	23	51	26	△3	100	15	59	26	△11
	繊維・衣服	38	21	47	32	△11	36	11	56	33	△22
	木材・家具	40	17	45	38	△21	40	17	58	25	△8
	パルプ・紙	42	21	41	38	△17	41	20	46	34	△14
	化学・プラスチック	106	32	55	13	19	104	23	62	15	8
	窯業・土石	43	37	42	21	16	43	26	48	26	0
	鉄鋼・非鉄	107	51	33	16	35	106	40	40	20	20
	金属製品	53	38	36	26	12	53	21	43	36	△15
	一般機械	88	38	44	18	20	87	30	45	25	5
	電気機械	115	38	36	26	12	114	30	44	26	4
	輸送用機械	92	46	41	13	33	90	19	44	37	△18
	精密機械	20	35	50	15	20	20	25	55	20	5
	その他	51	45	45	10	35	50	24	60	16	8
計	897	36	43	21	15	884	24	50	26	△2	
卸売業	生産財	54	15	57	28	△13	52	11	62	27	△16
	消費財	49	14	62	24	△10	48	8	71	21	△13
	計	103	15	59	26	△11	100	10	66	24	△14
合計	1,000	34	45	21	13	984	22	52	26	△4	

(2) 特別積合せトラック

■ 7～9月実績(見込み)の『利用動向指数』は、鉄鋼・非鉄など9業種がプラス、生産財卸など6業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』はプラス8で、前期(4～6月)実績との比較では4ポイントの上昇がみられた。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、金属製品、一般機械、輸送用機械がマイナスに沈み、窯業・土石および精密機械も水面まで下降しよう。また、プラスの業種でも軒並みプラス幅が縮小し、この結果、業種全体の『利用動向指数』は△3と11ポイント低下する見通しで、利用の減退が懸念される。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	57	14	61	25	△11	57	15	60	25	△10
	繊維・衣服	39	23	49	28	△5	37	16	57	27	△11
	木材・家具	28	14	65	21	△7	27	0	89	11	△11
	パルプ・紙	24	25	25	50	△25	24	24	38	38	△14
	化学・プラスチック	91	24	67	9	15	90	17	71	12	5
	窯業・土石	27	37	41	22	15	27	33	33	33	0
	鉄鋼・非鉄	65	45	43	12	33	64	28	52	20	8
	金属製品	39	36	44	20	16	39	25	44	31	△6
	一般機械	71	27	51	22	5	71	19	54	27	△8
	電気機械	93	39	40	21	18	91	32	43	25	7
	輸送用機械	63	32	54	14	18	62	16	55	29	△13
	精密機械	13	38	54	8	30	13	15	70	15	0
	その他	38	34	63	3	31	37	19	73	8	11
計	648	30	51	19	11	639	21	56	23	△2	
卸売業	生産財	44	13	48	39	△26	43	12	60	28	△16
	消費財	36	11	67	22	△11	35	11	66	23	△12
	計	80	13	56	31	△18	78	11	63	26	△15
合計	728	28	52	20	8	717	20	57	23	△3	

(3) 宅配便

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、その他の製造業など8業種がプラス、パルプ・紙など7業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』はプラス3で、前期（4～6月）実績からは4ポイントの改善がみられた。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料がプラスに浮上するものの、輸送用機械など6業種がマイナスに反転し、業種全体の『利用動向指数』は9ポイント低下して△6と見込まれる。この結果、利用は減退に転じる見通しである。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	71	11	72	17	△6	69	13	75	12	1
	繊維・衣服	36	14	69	17	△3	34	5	71	24	△19
	木材・家具	33	21	55	24	△3	33	6	70	24	△18
	パルプ・紙	22	5	50	45	△40	22	5	50	45	△40
	化学・プラスチック	84	14	75	11	3	83	8	78	14	△6
	窯業・土石	26	12	69	19	△7	26	8	69	23	△15
	鉄鋼・非鉄	63	19	71	10	9	62	15	74	11	4
	金属製品	49	22	58	20	2	49	10	66	24	△14
	一般機械	85	21	65	14	7	84	17	65	18	△1
	電気機械	109	28	57	15	13	108	23	62	15	8
	輸送用機械	69	19	72	9	10	68	5	74	21	△16
	精密機械	21	24	62	14	10	21	19	52	29	△10
	その他	37	24	71	5	19	36	8	75	17	△9
計	705	19	66	15	4	695	13	69	18	△5	
卸売業	生産財	49	14	66	20	△6	47	6	81	13	△7
	消費財	37	11	73	16	△5	36	5	81	14	△9
	計	86	12	69	19	△7	83	6	81	13	△7
合計	791	18	67	15	3	778	12	70	18	△6	

(4) 鉄道コンテナ

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、鉄鋼・非鉄など4業種がプラス、食料品・飲料および精密機械がゼロ水準で、生産財卸など9業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△1で、前期（4～6月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具、電気機械、その他の製造業がプラスに浮上する一方、食料品・飲料および精密機械がマイナスに沈み、輸送用機械も水面まで下降するなど、業種によりバラツキがみられる。業種全体の『利用動向指数』は△2と弱含み横ばいで推移し、この結果、利用は減退する見通しであるが、他の輸送機関に比べれば、鉄道コンテナの利用減退圧力は比較的弱い。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	49	16	68	16	0	48	8	82	10	△2
	繊維・衣服	14	14	65	21	△7	14	14	57	29	△15
	木材・家具	19	16	58	26	△10	19	16	74	10	6
	パルプ・紙	26	4	69	27	△23	26	8	69	23	△15
	化学・プラスチック	72	19	67	14	5	72	21	64	15	6
	窯業・土石	16	12	63	25	△13	16	6	69	25	△19
	鉄鋼・非鉄	38	37	50	13	24	38	21	66	13	8
	金属製品	20	10	75	15	△5	20	10	70	20	△10
	一般機械	30	10	87	3	7	31	19	78	3	16
	電気機械	33	12	70	18	△6	34	21	62	17	4
輸送用機械	23	30	57	13	17	24	29	42	29	0	
精密機械	6	17	66	17	0	6	17	50	33	△16	
その他	26	7	81	12	△5	25	12	80	8	4	
計	372	17	67	16	1	373	16	68	16	0	
卸売業	生産財	10	0	70	30	△30	10	0	70	30	△30
	消費財	16	6	63	31	△25	15	7	60	33	△26
	計	26	4	65	31	△27	25	4	64	32	△28
合計	398	16	67	17	△1	398	15	68	17	△2	

(5) 内航コンテナ

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、輸送用機械など4業種がプラス、繊維・衣服がゼロ水準で、木材・家具など10業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△7で、前期（4～6月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに反転し、パルプ・紙も水面まで下降する。業種全体の『利用動向指数』は△9と小幅ながらさらに低下する見通しで、利用は減退が続く見込みである。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	27	7	78	15	△8	27	7	82	11	△4
	繊維・衣服	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
	木材・家具	11	0	55	45	△45	11	9	55	36	△27
	パルプ・紙	14	29	50	21	8	14	21	58	21	0
	化学・プラスチック	41	9	76	15	△6	41	12	73	15	△3
	窯業・土石	11	9	55	36	△27	11	0	64	36	△36
	鉄鋼・非鉄	22	14	77	9	5	22	18	73	9	9
	金属製品	15	7	73	20	△13	15	13	67	20	△7
	一般機械	30	10	83	7	3	30	10	87	3	7
	電気機械	27	11	59	30	△19	26	11	58	31	△20
	輸送用機械	25	32	48	20	12	25	12	60	28	△16
	精密機械	5	0	80	20	△20	5	0	80	20	△20
	その他	16	6	81	13	△7	16	6	75	19	△13
計	251	12	70	18	△6	250	11	71	18	△7	
卸売業	生産財	9	12	44	44	△32	8	12	50	38	△26
	消費財	10	10	70	20	△10	10	10	70	20	△10
	計	19	10	58	32	△22	18	11	61	28	△17
合計	270	12	69	19	△7	268	10	71	19	△9	

(6) 国内航空

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は鉄鋼・非鉄の1業種のみで、精密機械および消費財卸がゼロ水準にとどまる以外は、残り12業種がマイナスを示す。業種全体の『利用動向指数』は△14で、前期（4～6月）実績からは小幅の改善にとどまった。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄もマイナスに落ち込み、精密機械および消費財卸が引き続きゼロ水準にとどまる以外は、残りすべての業種がマイナスで、プラスの業種は皆無となる。業種全体の『利用動向指数』は△18とさらに4ポイント低下する見込みで、国内航空はすべての輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退圧力が大きい。

国内航空利用の実績と見通し

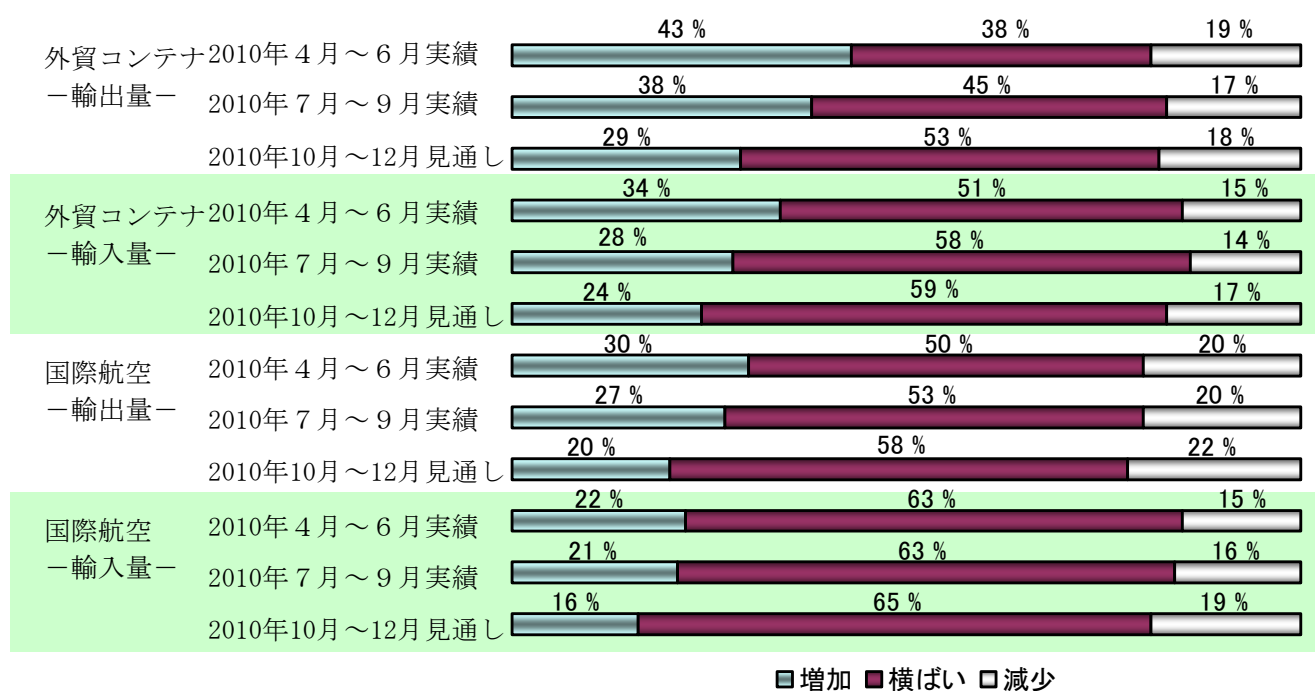
業 種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	21	10	71	19	△ 9	21	5	76	19	△ 14
	繊維・衣服	13	0	77	23	△ 23	13	0	77	23	△ 23
	木材・家具	10	0	80	20	△ 20	10	0	80	20	△ 20
	パルプ・紙	3	0	0	100	△ 100	3	0	0	100	△ 100
	化学・プラスチック	34	0	91	9	△ 9	34	0	88	12	△ 12
	窯業・土石	8	12	63	25	△ 13	8	0	88	12	△ 12
	鉄鋼・非鉄	22	9	86	5	4	22	5	86	9	△ 4
	金属製品	15	6	67	27	△ 21	15	6	67	27	△ 21
	一般機械	49	8	70	22	△ 14	49	4	76	20	△ 16
	電気機械	60	15	50	35	△ 20	60	10	52	38	△ 28
	輸送用機械	26	15	66	19	△ 4	26	8	65	27	△ 19
	精密機械	12	17	66	17	0	12	17	66	17	0
その他	17	0	88	12	△ 12	17	0	82	18	△ 18	
計	290	8	70	22	△ 14	290	5	72	23	△ 18	
卸 売 業	生産財	10	0	60	40	△ 40	10	0	70	30	△ 30
	消費財	10	10	80	10	0	10	10	80	10	0
	計	20	5	70	25	△ 20	20	5	75	20	△ 15
合計	310	8	70	22	△ 14	310	5	72	23	△ 18	

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 7～9 月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナの輸出・輸入、国際航空の輸出・輸入ともプラスを維持するものの、プラス幅はいずれも前期（4～6 月）実績より縮小し、荷動きの動向にはやや陰りが窺える展開となった。

■ 10～12 月の『荷動き指数』見通しについては、外貿コンテナの輸出・輸入、国際航空の輸出・輸入ともさらに低下し、外貿コンテナではプラスにとどまるものの、国際航空ではマイナスに落ち込む。この結果、外貿コンテナでは荷動きの回復が続くがその勢いは鈍化し、国際航空では荷動きは減退に転じる見通しである。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 7～9月実績(見込み)の『荷動き指数』は、生産財卸など5業種がマイナスで、残り10業種がプラスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス21と前期(4～6月)実績からは3ポイント低下した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、食料品・飲料がゼロ水準まで戻し、卸売業でも小幅ながらマイナス幅の縮小がみられる一方、残りの大半の業種ではプラス幅が縮小する。この結果、業種全体の『荷動き指数』はプラス11と10ポイント低下する見通しで、荷動きは引き続き拡大基調にあるものの、その勢いは鈍化するとみられる。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	11	0	91	9	△9	11	9	82	9	0	
繊維・衣服	11	36	55	9	27	11	27	64	9	18	
木材・家具	6	0	83	17	△17	6	0	67	33	△33	
パルプ・紙	10	20	50	30	△10	10	20	50	30	△10	
化学・プラスチック	57	28	60	12	16	56	23	63	14	9	
窯業・土石	24	50	42	8	42	24	29	54	17	12	
鉄鋼・非鉄	44	52	41	7	45	44	32	57	11	21	
金属製品	17	35	59	6	29	17	29	59	12	17	
一般機械	59	44	32	24	20	59	42	36	22	20	
電気機械	52	37	46	17	20	52	27	56	17	10	
輸送用機械	46	54	24	22	32	45	40	31	29	11	
精密機械	14	43	36	21	22	14	36	57	7	29	
その他	32	41	44	15	26	32	31	56	13	18	
計	383	40	45	15	25	381	31	52	17	14	
卸売業	生産財	9	0	33	67	△67	8	0	37	63	△63
	消費財	13	0	77	23	△23	13	0	85	15	△15
	計	22	0	59	41	△41	21	0	67	33	△33
合計	405	38	45	17	21	402	29	53	18	11	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 7～9月実績(見込み)の『荷動き指数』は、パルプ・紙など3業種がマイナス、木材・家具および生産財卸がゼロ水準で、残り10業種がプラスとなった。業種全体の『荷動き指数』はプラス14で、前期(4～6月)実績より5ポイント低下した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、消費財卸がプラスに上昇する一方、木材・家具はマイナスに沈み、精密機械も水面まで下降するなど、業種全体の『荷動き指数』はプラス7と、さらに7ポイントの低下が見込まれる。このため、輸出同様、荷動きは拡大が続くものの増勢は鈍化する見通しである。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	17	6	76	18	△12	17	6	76	18	△12	
繊維・衣服	15	27	67	6	21	15	20	67	13	7	
木材・家具	11	18	64	18	0	11	18	55	27	△9	
パルプ・紙	8	12	50	38	△26	8	12	38	50	△38	
化学・プラスチック	51	18	76	6	12	51	14	78	8	6	
窯業・土石	19	53	42	5	48	19	37	58	5	32	
鉄鋼・非鉄	32	34	63	3	31	31	19	75	6	13	
金属製品	15	40	53	7	33	15	27	60	13	14	
一般機械	56	32	48	20	12	56	36	45	19	17	
電気機械	50	32	58	10	22	50	28	54	18	10	
輸送用機械	52	37	50	13	24	51	33	40	27	6	
精密機械	15	33	40	27	6	15	27	46	27	0	
その他	30	20	63	17	3	30	20	63	17	3	
計	371	29	58	13	16	369	25	58	17	8	
卸売業	生産財	16	25	50	25	0	16	19	62	19	0
	消費財	16	12	63	25	△13	16	19	69	12	7
	計	32	19	56	25	△6	32	19	66	15	4
合計	403	28	58	14	14	401	24	59	17	7	

(3) 国際航空 —輸出—

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、パルプ・紙など6業種がプラス、食料品・飲料など6業種がゼロ水準で、生産財卸など3業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』はプラス7で、前期（4～6月）実績より3ポイント低下した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、精密機械および消費財卸が上昇するものの、繊維・衣服、窯業・土石、輸送用機械はマイナスに落ち込み、一般機械も水面まで下降するなど、大半の業種で『荷動き指数』が悪化しよう。業種全体の『荷動き指数』は△2と9ポイント低下してマイナスに反転し、荷動きは減退に向かう見通しである。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業 種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	繊維・衣服	10	20	60	20	0	9	11	67	22	△ 11
	木材・家具	4	0	75	25	△ 25	4	0	50	50	△ 50
	パルプ・紙	2	50	50	0	50	2	50	50	0	50
	化学・プラスチック	34	9	82	9	0	34	12	76	12	0
	窯業・土石	7	43	43	14	29	7	14	57	29	△ 15
	鉄鋼・非鉄	23	30	57	13	17	23	22	70	8	14
	金属製品	17	5	71	24	△ 19	17	0	71	29	△ 29
	一般機械	60	33	47	20	13	59	24	52	24	0
	電気機械	72	43	29	28	15	72	32	38	30	2
	輸送用機械	33	30	49	21	9	32	22	53	25	△ 3
	精密機械	14	14	72	14	0	14	21	65	14	7
その他	21	19	62	19	0	20	10	80	10	0	
計	306	27	54	19	8	302	20	58	22	△ 2	
卸 売 業	生産財	8	25	12	63	△ 38	8	12	25	63	△ 51
	消費財	9	11	78	11	0	9	11	89	0	11
	計	17	18	47	35	△ 17	17	12	59	29	△ 17
合計	323	27	53	20	7	319	20	58	22	△ 2	

(4) 国際航空 —輸入—

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、電気機械など7業種がプラス、食料品・飲料など3業種がゼロ水準で、消費財卸など5業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス5で、前期(4～6月)実績との比較では小幅の低下がみられた。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、その他の製造業がプラスへ上昇するものの、繊維・衣服および輸送用機械はマイナスに落ち込み、木材・家具および窯業・土石も水面まで下降することなどにより、業種全体の『荷動き指数』は△3と8ポイントの低下が見込まれる。この結果、輸出同様、荷動きは減退に転じる見通しである。

国際航空による輸入量の実績と見通し

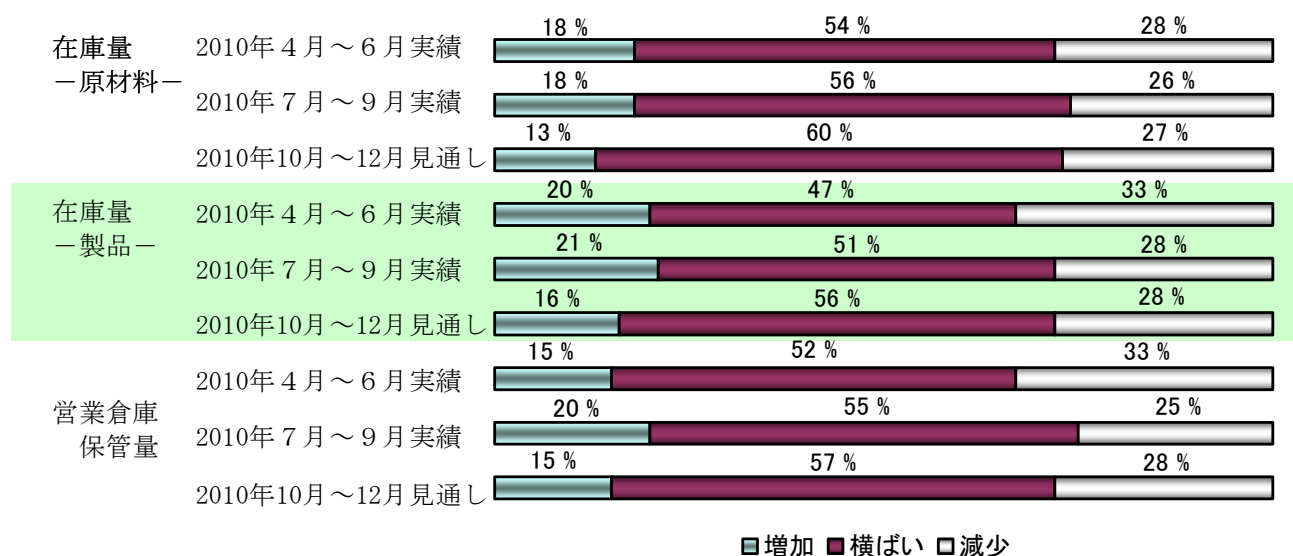
業 種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
	繊維・衣服	8	13	74	13	0	8	0	88	12	△12
	木材・家具	4	50	25	25	25	4	25	50	25	0
	パルプ・紙	1	100	0	0	100	1	100	0	0	100
	化学・プラスチック	29	3	87	10	△7	29	3	83	14	△11
	窯業・土石	7	29	57	14	15	7	14	72	14	0
	鉄鋼・非鉄	16	25	69	6	19	16	13	81	6	7
	金属製品	15	20	53	27	△7	15	7	53	40	△33
	一般機械	48	19	60	21	△2	48	15	58	27	△12
	電気機械	60	35	48	17	18	60	32	48	20	12
	輸送用機械	28	29	57	14	15	27	14	67	19	△5
精密機械	15	20	73	7	13	15	20	73	7	13	
その他	19	16	68	16	0	19	21	63	16	5	
計	258	22	63	15	7	257	17	64	19	△2	
卸 売 業	生産財	9	11	67	22	△11	9	0	67	33	△33
	消費財	10	0	80	20	△20	10	0	90	10	△10
	計	19	5	74	21	△16	19	0	79	21	△21
合計	277	21	63	16	5	276	16	65	19	△3	

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 7～9月実績(見込み)の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも『動向指数』はマイナスを示した。前期(4～6月)実績との比較では、すべての『動向指数』で改善がみられ、マイナス幅が1ケタまで縮小した。

■ 10～12月の見通しについては、いずれの『動向指数』も悪化の方向に向かい、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも2ケタのマイナスに落ち込む。このため、在庫圧縮および営業倉庫保管量の削減圧力が再び強まる見通しである。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 7～9月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、鉄鋼・非鉄、電気機械、輸送用機械の3業種がプラスで、残り12業種はマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△8で、前期（4～6月）実績との比較では小幅の改善がみられた。

■ 10～12月の『在庫動向指数』見通しでは、電気機械および輸送用機械がマイナスに反転し、鉄鋼・非鉄を除くすべての業種がマイナスとなる。業種全体の『在庫動向指数』は△14と6ポイント悪化する見込みで、原材料在庫は再び圧縮圧力が強まる見通しである。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	85	19	56	25	△6	85	9	69	22	△13
	繊維・衣服	42	5	55	40	△35	42	5	52	43	△38
	木材・家具	35	9	57	34	△25	35	3	74	23	△20
	パルプ・紙	34	11	74	15	△4	34	6	76	18	△12
	化学・プラスチック	96	14	67	19	△5	96	8	71	21	△13
	窯業・土石	40	12	53	35	△23	40	15	60	25	△10
	鉄鋼・非鉄	99	31	54	15	16	98	26	58	16	10
	金属製品	45	20	44	36	△16	45	13	51	36	△23
	一般機械	78	18	55	27	△9	78	18	53	29	△11
	電気機械	106	26	52	22	4	106	20	58	22	△2
	輸送用機械	84	23	56	21	2	82	7	55	38	△31
	精密機械	18	22	50	28	△6	18	22	45	33	△11
その他	48	19	56	25	△6	48	17	60	23	△6	
計	810	20	56	24	△4	807	13	61	26	△13	
卸売業	生産財	31	16	49	35	△19	31	6	55	39	△33
	消費財	30	3	47	50	△47	30	0	60	40	△40
	計	61	9	48	43	△34	61	3	58	39	△36
合計	871	18	56	26	△8	868	13	60	27	△14	

(2) 在庫量 —製品—

■ 7～9月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、鉄鋼・非鉄、電気機械、輸送用機械の3業種がプラス、パルプ・紙がゼロ水準で、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』は△7で、前期（4～6月）実績より6ポイント上昇した。

■ 10～12月の『在庫動向指数』見通しでは、パルプ・紙および輸送用機械がマイナスに沈み、鉄鋼・非鉄および電気機械を除く残り13業種がマイナスとなる。業種全体の『在庫動向指数』は△12と5ポイント悪化する見込みで、製品在庫の圧縮が進むとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	87	22	53	25	△3	87	15	64	21	△6
繊維・衣服	43	7	49	44	△37	43	12	51	37	△25
木材・家具	35	3	57	40	△37	35	6	63	31	△25
パルプ・紙	39	26	48	26	0	38	13	63	24	△11
化学・プラスチック	101	18	58	24	△6	100	13	62	25	△12
窯業・土石	42	17	45	38	△21	42	19	48	33	△14
鉄鋼・非鉄	102	32	49	19	13	101	27	56	17	10
金属製品	46	19	46	35	△16	46	15	48	37	△22
一般機械	81	21	52	27	△6	81	17	55	28	△11
電気機械	115	30	48	22	8	115	28	47	25	3
輸送用機械	81	25	52	23	2	82	9	51	40	△31
精密機械	20	25	40	35	△10	20	20	40	40	△20
その他	51	20	51	29	△9	51	14	59	27	△13
計	843	22	51	27	△5	841	17	55	28	△11
卸売業										
生産財	48	15	58	27	△12	48	6	67	27	△21
消費財	42	12	50	38	△26	42	7	62	31	△24
計	90	13	55	32	△19	90	7	64	29	△22
合計	933	21	51	28	△7	931	16	56	28	△12

(3) 営業倉庫保管量

■ 7～9月実績（見込み）の『保管動向指数』は、鉄鋼・非鉄など4業種がプラス、その他の製造業がゼロ水準で、残り10業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』は△5で、前期（4～6月）実績からは13ポイントの改善がみられた。

■ 10～12月の『保管動向指数』見通しでは、化学・プラスチックなど4業種がマイナスに沈み、鉄鋼・非鉄を除くすべての業種がマイナスとなる。業種全体の『保管動向指数』は△13と8ポイント悪化する見込みで、営業倉庫保管量は再び削減圧力が強まる見通しである。

営業倉庫保管量の実績と見通し

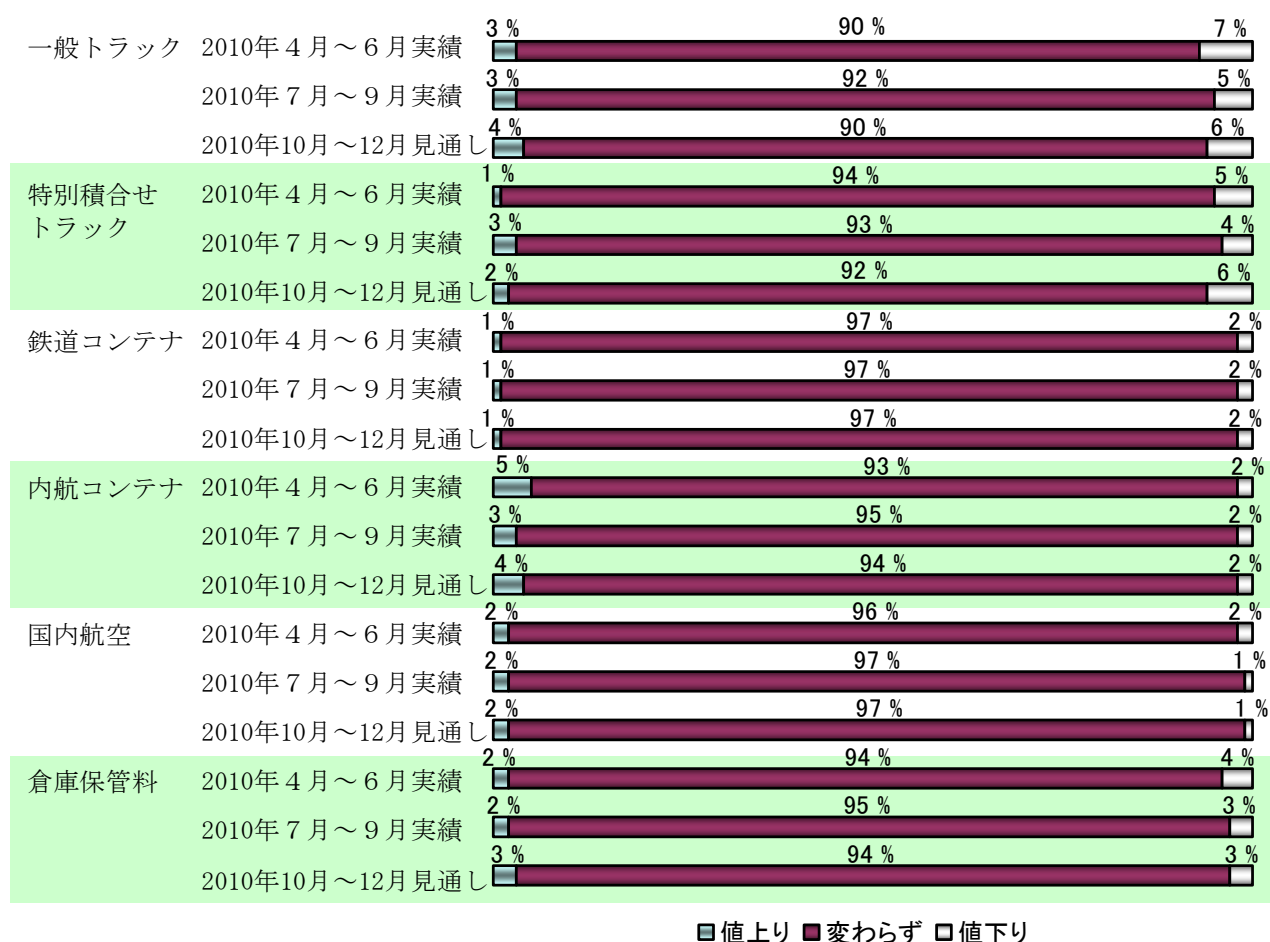
業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	66	18	56	26	△8	67	15	60	25	△10
	繊維・衣服	26	12	50	38	△26	26	12	46	42	△30
	木材・家具	30	13	57	30	△17	30	17	60	23	△6
	パルプ・紙	33	15	52	33	△18	33	12	61	27	△15
	化学・プラスチック	81	21	60	19	2	81	16	61	23	△7
	窯業・土石	24	12	46	42	△30	24	16	42	42	△26
	鉄鋼・非鉄	65	25	60	15	10	65	25	65	10	15
	金属製品	32	15	44	41	△26	32	13	56	31	△18
	一般機械	56	17	54	29	△12	56	18	57	25	△7
	電気機械	76	28	50	22	6	76	23	49	28	△5
	輸送用機械	55	22	60	18	4	55	9	51	40	△31
	精密機械	14	14	57	29	△15	14	7	64	29	△22
	その他	36	19	62	19	0	36	16	53	31	△15
計	594	20	55	25	△5	595	17	56	27	△10	
卸売業	生産財	43	21	56	23	△2	42	7	67	26	△19
	消費財	38	16	50	34	△18	38	8	53	39	△31
	計	81	19	53	28	△9	80	7	60	33	△26
合計	675	20	55	25	△5	675	15	57	28	△13	

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 7～9月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、すべての機関がゼロ水準±2の範囲内に納まり、総じて現状維持の傾向が強い。前期（4～6月）実績との比較では、『動向指数』は一部を除いて小幅の変化で推移した。

■ 10～12月の『動向指数』見通しについては、特別積合せトラックで△4とややマイナス幅が拡大し、運賃は低下方向に向かうとみられる。しかしながら、その他の機関では『動向指数』が引き続きゼロ水準±2の範囲内にとどまり、運賃・料金水準の大幅な変動は見込まれない。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

- 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、鉄鋼・非鉄など4業種がプラス、化学・プラスチックおよび一般機械がゼロ水準で、残り9業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△2で、前期(4～6月)実績からは小幅の上昇がみられた。
- 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがプラスに上昇し、木材・家具などでもプラス幅の拡大が見込まれる一方、金属製品、一般機械、輸送用機械がマイナスに沈むなど業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移しよう。この結果、運賃水準は緩やかながら低下が続く見通しである。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	99	2	94	4	△2	98	2	92	6	△4
	繊維・衣服	39	2	90	8	△6	39	3	92	5	△2
	木材・家具	40	5	93	2	3	39	8	92	0	8
	パルプ・紙	41	2	88	10	△8	41	2	91	7	△5
	化学・プラスチック	105	2	96	2	0	105	5	93	2	3
	窯業・土石	43	0	88	12	△12	43	0	91	9	△9
	鉄鋼・非鉄	106	11	85	4	7	104	15	81	4	11
	金属製品	52	8	88	4	4	51	2	94	4	△2
	一般機械	87	3	94	3	0	87	2	92	6	△4
	電気機械	115	1	93	6	△5	115	3	90	7	△4
	輸送用機械	88	6	90	4	2	85	5	84	11	△6
	精密機械	17	0	94	6	△6	17	0	88	12	△12
その他	50	2	94	4	△2	50	2	94	4	△2	
計	882	4	91	5	△1	874	4	90	6	△2	
卸売業	生産財	52	0	98	2	△2	50	0	90	10	△10
	消費財	49	2	88	10	△8	49	2	88	10	△8
	計	101	1	93	6	△5	99	1	89	10	△9
合計	983	3	92	5	△2	973	4	90	6	△2	

(2) 特別積合せトラック運賃

- 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具など4業種がプラス、パルプ・紙がゼロ水準で、残り10業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期（4～6月）実績との比較では3ポイントの上昇がみられた。
- 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、消費財卸が水面まで戻すものの、輸送用機械はマイナスに反転し、その他の製造業などでもマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は△4と3ポイント低下する見通しで、運賃水準の下押し圧力がいくぶん強まるものとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	58	2	91	7	△5	57	0	93	7	△7
	繊維・衣服	38	0	95	5	△5	37	0	95	5	△5
	木材・家具	26	8	92	0	8	26	12	88	0	12
	パルプ・紙	24	8	84	8	0	24	8	84	8	0
	化学・プラスチック	89	1	96	3	△2	89	1	96	3	△2
	窯業・土石	27	0	96	4	△4	27	0	93	7	△7
	鉄鋼・非鉄	67	7	92	1	6	65	8	89	3	5
	金属製品	37	8	81	11	△3	36	3	86	11	△8
	一般機械	70	3	97	0	3	70	3	96	1	2
	電気機械	92	1	97	2	△1	92	1	96	3	△2
	輸送用機械	62	6	92	2	4	61	5	87	8	△3
	精密機械	12	0	92	8	△8	12	0	92	8	△8
	その他	37	0	95	5	△5	37	0	89	11	△11
	計	639	3	93	4	△1	633	3	92	5	△2
卸売業	生産財	40	0	93	7	△7	39	0	90	10	△10
	消費財	37	2	84	14	△12	37	5	90	5	0
	計	77	1	89	10	△9	76	3	89	8	△5
合計	716	3	93	4	△1	709	2	92	6	△4	

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 7～9月実績(見込み)の『運賃動向指数』は、輸送用機械が唯一プラスを示し、繊維・衣服など8業種がゼロ水準で、精密機械など6業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期(4～6月)実績からは横ばいで推移した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、その他の製造業がマイナスに沈む以外はほとんど動きがみられず、業種全体の『運賃動向指数』も横ばいで推移が見込まれる。この結果、運賃水準は概ね現状維持が続く見通しである。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	46	0	98	2	△2	45	0	98	2	△2	
繊維・衣服	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0	
木材・家具	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0	
パルプ・紙	28	0	96	4	△4	28	0	96	4	△4	
化学・プラスチック	71	0	96	4	△4	70	0	96	4	△4	
窯業・土石	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0	
鉄鋼・非鉄	39	0	100	0	0	39	0	100	0	0	
金属製品	19	0	100	0	0	19	0	100	0	0	
一般機械	30	0	97	3	△3	30	0	97	3	△3	
電気機械	33	0	97	3	△3	33	0	97	3	△3	
輸送用機械	24	8	92	0	8	25	8	88	4	4	
精密機械	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17	
その他	24	0	100	0	0	24	0	96	4	△4	
計	366	1	97	2	△1	365	1	97	2	△1	
卸売業	生産財	10	0	100	0	0	10	0	100	0	0
	消費財	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0
	計	25	0	100	0	0	25	0	100	0	0
合計	391	1	97	2	△1	390	1	97	2	△1	

(4) 内航コンテナ運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、パルプ・紙など6業種がプラス、繊維・衣服など6業種がゼロ水準で、精密機械など3業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期（4～6月）実績からは小幅の低下がみられた。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、その他の製造業がプラスに上昇する以外は大きな動きがみられず、業種全体の『運賃動向指数』はプラス2と強含み横ばいで推移しよう。この結果、運賃水準は緩やかながら上昇する見通しである。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	26	4	96	0	4	25	8	92	0	8
	繊維・衣服	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
	木材・家具	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
	パルプ・紙	14	14	86	0	14	14	7	93	0	7
	化学・プラスチック	42	5	93	2	3	43	7	88	5	2
	窯業・土石	12	8	92	0	8	12	8	92	0	8
	鉄鋼・非鉄	24	8	88	4	4	24	8	88	4	4
	金属製品	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	一般機械	29	0	100	0	0	30	0	100	0	0
	電気機械	26	0	96	4	△4	26	0	96	4	△4
	輸送用機械	19	5	95	0	5	19	5	95	0	5
	精密機械	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25
その他	15	0	100	0	0	15	7	93	0	7	
計	244	4	95	1	3	245	4	94	2	2	
卸売業	生産財	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
	消費財	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
	計	16	0	94	6	△6	16	0	94	6	△6
合計	260	3	95	2	1	261	4	94	2	2	

(5) 国内航空運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、一般機械がプラス、生産財卸がマイナスで、残り13業種がゼロ水準となった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期（4～6月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックおよび電気機械がプラスに上昇する一方、精密機械がマイナスに落ち込むなど、一部で業種によりバラツキがみられるものの、総じて大きな動きはみられず、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移しよう。このため、運賃水準は概ね現状維持が続く見通しである。

国内航空運賃の実績と見通し

業 種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	17	0	100	0	0	17	0	100	0	0	
繊維・衣服	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0	
木材・家具	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0	
パルプ・紙	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0	
化学・プラスチック	35	0	100	0	0	35	3	97	0	3	
窯業・土石	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0	
鉄鋼・非鉄	21	0	100	0	0	21	0	100	0	0	
金属製品	15	7	86	7	0	15	7	86	7	0	
一般機械	47	4	96	0	4	47	2	98	0	2	
電気機械	60	2	96	2	0	60	3	97	0	3	
輸送用機械	26	0	100	0	0	26	0	100	0	0	
精密機械	12	8	84	8	0	12	8	75	17	△9	
その他の	19	0	100	0	0	19	0	100	0	0	
計	286	2	97	1	1	286	2	97	1	1	
卸売業	生産財	12	0	92	8	△8	12	0	92	8	△8
	消費財	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
	計	23	0	96	4	△4	23	0	96	4	△4
合計	309	2	97	1	1	309	2	97	1	1	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 7～9月実績（見込み）の『料金動向指数』は、電気機械など4業種がプラス、木材・家具など4業種がゼロ水準で、生産財卸など7業種がマイナスとなった。業種全体の『料金動向指数』は△1で、前期(4～6月)実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『料金動向指数』見通しでは、木材・家具などがプラスに上昇し、食料品・飲料も水面まで戻すなど、一部で上昇の動きがみられるものの、残り業種では大きな動きはみられない。このため、業種全体の『料金動向指数』は強含み横ばいで推移し、料金水準は現状維持が続く見通しである。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	51	2	94	4	△2	51	4	92	4	0
繊維・衣服	20	5	95	0	5	20	5	90	5	0
木材・家具	20	0	100	0	0	20	5	95	0	5
パルプ・紙	30	3	94	3	0	30	3	97	0	3
化学・プラスチック	77	4	96	0	4	77	4	96	0	4
窯業・土石	19	0	95	5	△5	18	0	94	6	△6
鉄鋼・非鉄	49	2	96	2	0	49	4	92	4	0
金属製品	26	0	100	0	0	26	4	96	0	4
一般機械	55	0	98	2	△2	54	4	94	2	2
電気機械	65	6	94	0	6	65	3	95	2	1
輸送用機械	47	0	96	4	△4	46	0	96	4	△4
精密機械	13	8	77	15	△7	13	0	77	23	△23
その他	35	3	97	0	3	35	3	97	0	3
計	507	3	95	2	1	504	3	94	3	0
卸売業										
生産財	26	0	88	12	△12	25	0	88	12	△12
消費財	27	0	93	7	△7	27	0	93	7	△7
計	53	0	91	9	△9	52	0	90	10	△10
合計	560	2	95	3	△1	556	3	94	3	0

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、7～9月実績（見込み）の『動向指数』は、消費財卸など8業種がプラス、化学・プラスチックおよび窯業・土石がゼロ水準で、金属製品など5業種がマイナスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス3で、前期（4～6月）実績からは5ポイントの上昇がみられた。

■ 10～12月の『動向指数』見通しでは、生産財卸などでマイナス幅が縮小する一方、食料品・飲料および窯業・土石が水面下に沈むなど、業種により若干のバラツキがみられるが、業種全体の『動向指数』はプラス2と弱含み横ばいで推移しよう。この結果、物流コスト割合には僅かながらも上昇気配が窺える。

物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2010年7月～9月実績					2010年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食 料 品 ・ 飲 料	100	17	68	15	2	100	13	73	14	△ 1
繊 維 ・ 衣 服	44	18	62	20	△ 2	44	11	73	16	△ 5
木 材 ・ 家 具	41	22	71	7	15	41	12	78	10	2
パ ル プ ・ 紙	41	15	68	17	△ 2	41	15	68	17	△ 2
化学・プラスチック	103	17	66	17	0	103	18	65	17	1
窯 業 ・ 土 石	43	16	68	16	0	43	14	70	16	△ 2
鉄 鋼 ・ 非 鉄	107	24	64	12	12	106	21	70	9	12
金 属 製 品	52	21	42	37	△ 16	52	21	48	31	△ 10
一 般 機 械	87	23	62	15	8	86	23	63	14	9
電 気 機 械	125	25	51	24	1	125	22	58	20	2
輸 送 用 機 械	91	17	64	19	△ 2	90	17	62	21	△ 4
精 密 機 械	21	24	62	14	10	21	29	52	19	10
そ の 他	49	20	68	12	8	49	20	68	12	8
計	904	20	62	18	2	901	18	65	17	1
卸 売 業										
生 産 財	57	7	72	21	△ 14	56	9	77	14	△ 5
消 費 財	52	23	71	6	17	52	23	67	10	13
計	109	15	72	13	2	108	16	72	12	4
合 計	1,013	20	63	17	3	1,009	18	66	16	2